

# 清水家通信

## パソコン故障まで秒読みか?

### 悪戦苦闘の 家庭内LAN配線

夏の終わりごろから、我が家のパソコンは変なうなり声を上げるようになっていた。



十一月に入ると毎朝、起動時にエラーメッセージが出るようになってしまった。

吸気孔の目詰まりに関するメッセージと分かり掃除をしたがやはりエラーが出る。  
「動かなくなってしまうからでは困る」という事でとうとうパソコンを買うことになった。

今まで使っていた物も壊れたわけではないので編集長の書斎に置き、壊れるまで使うことになった。

ここで必要になってくるのが、家庭内LANである。

しかし業者に頼むと高く付きそう。だいたい、どこへ依頼すればいいのかわからない。分らない有様。



「分らない、自分でやるといいよ」という事で、通線ワイヤなる物を手直し、LANケーブルを配線することにしました。

が、しかし世の中そんなに甘いものではない。LAN配線をする人だつて、職人である。道具だけ揃えたにわか仕立ての素人に、簡単にできる仕事ではなかった。

配管には、すでに電話線が配線してある事と、所々の曲がり角のアルがきついのが災いして何度やってもLANケーブルを通すことができない。

とうとう配管のつなぎ目が外れ、ワイヤーは壁の中を回り始めたあげくに鉄骨に引っかかってしまった。押しでも引いてもワイヤーが抜けなくなってしまう。どうにもならなくなり、壁に穴を空け、引っかかったワイヤーを回収。

再度挑戦するが、作業時間が無くなり翌日へ持ち越すことに。  
翌日は、電話線を一度抜き、LANケーブルと二本同時に配線。

発行所  
清水家通信本社  
編集長 清水(夫)  
副編集長 清水(妻)  
<http://hopepage2.nifty.com/atHomeShimizu>  
購読のお申し込みはこちらへ  
mega.shimizu@nifty.ne.jp

これが前日とは比較にならないほど容易で、難関もあつたものの、一度で配線できてしまった。

ケーブルの先がワイヤーの末端から見えたとき編集長は「来た！来た！通った！通った！」と絶叫していた。

ワイヤーの引っ張りすぎで二人とも手が真っ赤になり痛くてたまらなかつたが何とも言いようのない充実感と、達成感が心を満たした出来事だつた。



ある日、リブジョーナはボールを取り合つて仲良く遊んでいた。二頭には、それぞれ自分のボールがあると言っているのに、何故かいつも一つのボールを巡つて争つのである。

毎度の事なので、ガウガウやっている二頭を横目に微笑ましく感じながら私はテレビを見ていた。  
しばらくガウガウやつてから静かになつたので「疲れて寝ちゃつたんだな？」

## 湿疹に失神?

ふと見るとリブジョーナの太ももの付け根に五百円玉大のハゲがある。

前日まではまったく気づかなかつたし、おかしな素振りもなかつた。  
しかも皮下にシコリの様な物がある。「癌?」

その日は編集長の帰りが遅く獣医に見せることができなかったが、最悪のことまで考えた。

翌日にはそのハゲがジクジクとしてきて、そこから体液が滴り落ちるようになった。  
もう、迷っている暇はない。帰宅した編集長の夕飯も後回しに、獣医のところ

と勝手に思い込んだ私。でも、実は疲れて寝てしまつたのはリブジョーナだけで、ジョーナはしっかり悪戯をしていた。

「ハッ！」と気付いた時にはもうすでにボールは半分近くまで食べられ無残な姿になっていた。

うまく吐き出すか、排泄をしてくれないと、最悪医者での切腹もありうる。  
祈るような気持ちで見続けた臭い排泄物の中に翌日

白い物体が混じっているのを発見!  
「出た!」  
大事に至らず「ホッ!」と胸をなでおろした清水家のだった。



へ急いだ。  
先生は診るなり「湿疹ですわね!」と言つた。  
「?..湿疹ですか?」  
一気に気が抜けた。  
「まったく人騒がせな」  
心の中で思つた。  
しかし話を続ける先生の手に握られた六本の注射を見て「湿疹に六本も?きつと薬も出るし、診察も一回では済むまい。いったい、いくら掛かるんだう..」

と不安な思いを三回繰り返した。  
診察と薬で請求書を見て気が遠退きそうになつた。  
人間なら、ムヒでも塗つておけば治るようなものを舐め壊してしまうばかりに治療しなくてはならないなんて..



エリザベスカラーが出払っていた為バスタオルで先生お手製のオーグメイド服となつた

それにしては湿疹と癌の区別も付かないなんて、とんだ早とちりの副編集長なのであつた。

## サプライズな 結婚記念日

十二月十二日、清水家は結婚十一周年を迎えた。前日「久しぶりにボーリングがやりたいな」と言つた息子の鶴の一声で、記念日は朝一番のボーリングから始まつた。

二ゲーム目が終わった所で、副編は体がギシギシしてきて戦線離脱。二人は三ゲーム目まで楽しんで、ささやかなハブニングも有り楽しい時間がすごせた。

せつかくの記念日。ケーキを買いに行こうという事になり、行き着けのケーキ屋さんへ。  
「どれにしようか..」と悩む私を横目に「予約してあつた清水ですけど」と編集長。



「へっ?頼んであつたの?」  
鳩が豆鉄砲を食らつたような顔をした私を見て、編集長も店員さんもクスクス笑つてご満悦の顔。

してやられた私も、とんだサプライズに何故か?ご満悦。顔の筋肉が緩む一日だつた



顔の筋肉が緩む一日だつた

